



第7回常任理事会

日時 平成23年7月12日（火）17：45～18：29
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、水元・中村・大口各監事

（事務局：島影事務局長ほか12名）

協議事項

第1号 北海道介護予防・地域包括ケア市町村支援委員会委員の推薦に関する件（深澤常任理事）

地域福祉部長の前川常任理事を推薦することと決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座26件、道医認定生涯教育講座17件、合計43件を承認することと決定。

報告事項

1. 民主党北海道総支部連合との政策懇談会〔7月2日（土）〕について（直江常任理事）

長瀬会長ほか10名の役員が出席し、地域医療の確保と国民皆保険制度の堅持、診療報酬の是正と受診抑制の対応、救急医療体制の充実・確保など、医療政策に関する19項目について、民主党北海道総支部連合会の荒井代表をはじめ北海道選出の衆・参議員および道議会議員に対して要望した。

2. 第1回定款等検討委員会〔7月2日（土）〕について（深澤常任理事）

宮本副会長を委員長に、札幌市医師会の松家委員を副委員長に選出。会長より「昨年度に引き続き、新公益法人制度改革に対応した目指すべき法人形態と、それに基づく新たな定款および関係諸規程について、検討願いたい」との諮問書が手交された。その後、新法人への移行スケジュールと委員会検討事項について協議し、全員「まずは一般社団法人を目指す」との見解で一致した。今後は、その方向で定

款等各種規程の検討を行う。

3. 第2回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会〔7月2日（土）～3日（日）〕について（宮本副会長）

ロイトン札幌において、1,823名が参加した。大会長は草場鉄周氏。「時と人をつなぎ今飛躍の時へ」と題して、家庭医療、総合診療など数多くの講演が行われた。発表演題は教育講演10題、シンポジウム18題、ワークショップ33題、ナイトセッション9題、ランチョンセミナー8題、その他市民講座、ポスター発表など。

4. 医師会立准看護学校連絡協議会〔7月10日（日）〕について（北野常任理事）

初めに北海道保健福祉部から、「地域医療再生計画における看護師等養成所に対する備品整備補助の検討」「新人看護職員臨床実践能力向上支援事業実施状況」等についての概要説明がなされた。その後、小職から「第七次看護職員需給見通し」「准看護師養成所入学状況及び卒業後の状況」等について説明および報告を行った。意見交換では、入学定員数、専任看護教員講習会等の問題について活発な討議がなされた。

5. 日医各委員会報告

(1) 日医公衆衛生がん対策委員会第2回ワーキング会議〔7月2日（土）〕ならびに第6回公衆衛生・がん対策委員会〔7月7日（木）〕について（畑副会長）

ワーキング会議では、「がん地域連携クリティカルパス」に関するアンケート調査結果について解説があった。また、本委員会では国立がん研究センターがん予防・検診研究センター検診研究部長の斎藤博氏より「わが国のがん検診の現状と課題」をテーマに講演があり、その後、会長諮問「特定健診、がん検診等の受診率の向上」に答えるべく具体的な項目ごとに種々意見交換を行った。

6. 外部各委員会報告

(1) 道央ドクターヘリ運航調整委員会〔7月7日（木）〕について（目黒常任理事）

委員長に札幌医大・浅井教授、副委員長に小職が引き続き選出され、その後、平成22年度運航実績と重点課題の進捗状況について報告があった。また、本年度の重点活動として3機合同訓練の実施と高速道路本線上での訓練計画が了承された。

(2) 第1回身体拘束ゼロ作戦推進部会〔7月11日（月）〕について（前川常任理事）

平成23年度身体拘束廃止推進委員研修企画（案）について協議された。小職からは、従来、介護施設のみ対象として研修が行われていたが、今後は医療関係施設にも拡大する必要があるとの意見を述べた。

第8回常任理事会

日時 平成23年7月26日（火）18：33～20：15
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、水元・中村・大口各監事

（事務局：島影事務局長ほか12名）

協議事項

第1号 母体保護法医師指定に関する件

（深澤常任理事）

7月20日の審査委員会で指定「可」とされた新規1名、再審1名の申請者を指定医師とすることに決定。

第2号 北海道がん対策推進協議会特別委員の委嘱に関する件（深澤常任理事）

地域保健部担当課の西村事業第四課長を推薦することと決定。

第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座42件、道医認定生涯教育講座38件、合計80件を承認することと決定。

第4号 その他

○ 8月行事予定表に関する件（事務局）

報告事項

1. 北海道看護協会との懇談会[7月13日(水)]について（北野常任理事）

本懇談会は当番制となっており、本年度は当会の担当で開催した。東日本大震災の支援活動を共通テーマとしてそれぞれ発表の後、活発な意見交換が行われた。

2. 第1回母子保健対策推進委員会・第1回学校保健推進委員会・第1回学校心臓検診推進委員会[7月16日(土)]について（岡部常任理事）

母子保健対策推進委員会では、委員長に小職が、副委員長に渡辺委員（北海道保育園保健協議会会長）が互選された後、最近の母子保健をめぐる動向として、津田日医委員より日医母子保健検討委員会の検討経過が、山口委員（北海道保健福祉部子ども未来推進局医療参事）より平成22年度の児童相談所等における児童虐待相談処理状況等について説明があり、意見交換した。学校保健推進委員会では、委員長に小職が、副委員長に三戸常任理事が選出された後、最近の学校保健をめぐる動向として、三戸副委員長より日医学校保健委員会の検討経過について説明があった。学校心臓検診推進委員会では、委員長に小職が、副委員長に濱田委員（北海道小児循環器研究会）が互選された後、北海道学校保健会が委託事業として実施している学校心臓検診に関する平成

23年度の進捗状況等の報告があり、了承された。

3. 北海道小児救急地域医師研修事業協議会[7月20日(水)]について（目黒常任理事）

北海道小児科医会、北海道、当会の三者で今年度の研修会開催計画について協議を行い、全道8地域の開催ならびに研修内容を決定した。

4. 日医総研シンポジウム[7月24日(日)]について（水谷常任理事）

「更なる医療の信頼に向けて－無罪事件から学ぶ」をテーマに、全国から526名が参加し、熱気に満ちたシンポジウムが日医会館で開催された。基調講演では、東京大学の樋口範雄教授が院内事故調査委員会の充実と第三者機関の創設、さらに医師法21条の改正の必要性を強調した。午後のシンポジウムでは、東京女子医大事件、杏林大学割り箸事件、福島県立大野病院事件の当事者医師や弁護士からそれぞれ刑事裁判の問題点や事件の知られざる真実の報告が行われ、日経記者からは、日本医師会が行政主導ではなく自主的な活動を展開し、早期に医療安全調査委員会を設置することを期待しているとのプレスコメントが発表された。

5. 北海道警察との懇談会[7月25日(月)]について（深澤常任理事）

当会・長瀬会長、北海道警察本部・殿川本部長から挨拶の後、このたびの東日本大震災における対応等について懇談した。警察幹部多数が出席し、有益な懇談となった。北海道警察とは、今後とも機会をとらえ諸問題につき懇談することとしたい。

6. 日医理事会報告（長瀬会長）

協議等に関しては、すでに日医速報で報じており、そちらを参照願いたい。なお、事前の打合せにて、厚生労働省の検討会において、産業医の業務における事業場外組織（外部専門機関）の活用が議論されていること等について意見を交換した。

7. 外部各委員会報告

(1) 北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会[7月21日(木)]について（直江常任理事）

本年度の実施事業概要について協議し、了承された。また、北海道厚生局から技術的な助言があった医療費通知について、本年度は、前年同様の希望者のみに年2回の通知とし、24年度以降の通知方法については、今後、継続して検討を行うことになった。

(2) 北海道航空医療ネットワーク研究会役員会・総会[7月23日(土)]について（目黒常任理事）

平成23年度の役員会および総会が同日に開催された。22年度活動状況および収支決算の報告の後、監査報告、会則の一部改正、23年度活動計画および予算について協議し、了承された。

8. 中央情勢報告（直江常任理事）

経産省の諮問機関である産業構造審議会の基本政策部会が6月30日に公表した「中間とりまとめ」の

社会保障給付のあり方、社会保障を支える負担のあり方等について解説し、昨年6月に公表された「医療産業研究会」報告書と比較した。今回は医療の国際化に関する記載がほとんどなくなっているなど流れに変化がみられ、今後の動向に注目する必要がある。

道総医協関連事項（三宅副会長）

1. 運営委員会[7月20日(水)]について

（三宅副会長）

委員長に小職が、副委員長に北海道歯科医師会・金井副会長が選出された。引き続き、平成22年度各専門委員会の協議状況の報告および23年協議予定（案）、第45回総会、各専門委員会の開催などについて協議し、了承された。

2. 総会・各専門委員会[7月26日(火)]について

（総会：三宅副会長、専門委員会：宮本・畑副会長、目黒常任理事）

知事代理として多田副知事から挨拶があった。会長に長瀬会長を、副会長に北大・小山教授を選出、各専門委員会委員が指名された。地域医療専門委員会委員については、「北海道地域医療再生計画」の検討を行うため、救急医療・地域保健の専門委員会等の委員長3名、外部有識者4名を臨時委員として委嘱し、18名とすることが了承された。各専門委員会 of 委員長より22年度活動状況報告の後、23年度協議内容が承認された。

その後、各専門委員会が行われ、委員長、副委員長が選出され、23年度協議事項ならびに小委員会の構成について了承された。

道医の動き

7月11日 三役会
7月12日 第7回常任理事会、広報委員会、北海道保健福祉部との意見交換会
7月13日 北海道看護協会との懇談会
7月14日 学術部担当理事会、日医ニュース編集WG(山科常任理事)
7月15日 患者接遇に関する研修会(千歳市、伊藤常任理事)、日医医療政策会議(長瀬会長)
7月16日 母子保健対策推進委員会、学校保健推進委員会、心臓検診推進委員会、健保請求事務講座
7月19日 北海道医学大会第2回幹事会・連絡協議会、北海道厚生局との打合せ、日医理事会(長瀬会長)
7月20日 母体保護法指定医師審査委員会、北海道小児救急地域医師研修事業協議会、日医医事法関係検討委員会(山光理事)
7月21日 地区別事務懇談会(後志・北見ブロック)
7月22日 地区別事務懇談会(日胆・道北ブロック)、日医医療安全対策委員会(橋本常任理事)
7月23日 健保請求事務講座
7月24日 日医総研シンポジウム(長瀬会長、畑

副会長、水谷・橋本・直江各常任理事)

7月25日 三役会、北海道警察との懇談会
7月26日 第8回常任理事会
7月27日 医事紛争処理委員会、医業経営講習会(苫小牧市、長瀬会長、伊藤常任理事)、日医救急災害医療対策委員会(目黒常任理事)
7月28日 医業経営・福利厚生部担当理事会、緊急臨時的医師派遣事業運営委員会
7月29日 日医医師会共同利用施設検討委員会(伊藤理事)
7月30日 男女共同参画フォーラム(秋田県、北野・藤井各常任理事)
8月2日 地域医療に関わる地域別意見交換会(桧山、長瀬会長、直江・目黒各常任理事)
8月3日 医業経営講習会(網走市、長瀬会長、伊藤常任理事)、日医定款・諸規程改定検討委員会(宮本副会長)、日医社保診療報酬検討委員会(橋本常任理事)
8月4日 産業保健部担当理事会、北海道救急医療フォーラム打合せ会(釧路市、目黒常任理事)
8月6日 全国有床診療所連絡協議会総会(~7日、埼玉市、長瀬会長、深澤常任理事)
8月8日 三役会、総務部・財務部合同担当理事会
8月9日 第9回常任理事会、常任理事懇談会、広報委員会
8月10日 うつ病・自殺予防対策事業釧路地区説明会(釧路市、小山常任理事)、日医労災・自賠責委員会(深澤常任理事)